

水路新技術講演会 プログラム

日 時:平成 25 年 2 月 27 日 (水)

13 時 15 分~17 時 45 分

会 場:海上保安庁海洋情報部 国際会議室 10 階

住 所:東京都江東区青梅2丁目5番18号

主 催:海上保安庁海洋情報部

共 催:一般財団法人 日本水路協会

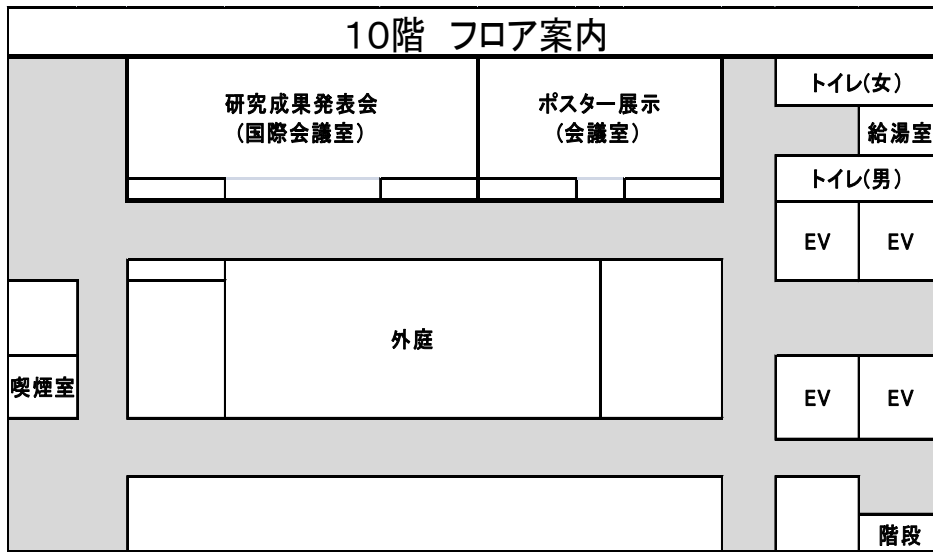


◆交通手段◆

新交通ゆりかもめ「**テレコムセンター**」駅下車、徒歩5分

入場料は無料です。

国際会議室 10階



発表 【13:15~17:45】

開会挨拶

13:15~13:20 海上保安庁 海洋情報部長 谷 伸

セッション1: 海洋の情報管理

基調講演

(1) 13:20~14:10 「最近の海洋をめぐる情勢~新しい海洋基本計画策定へ向けて~」
内閣官房 総合海洋政策本部 事務局長 長田 太

14:10~14:20 (10分間休憩)

口頭発表

- (2) 14:20~14:40 水路技術奨励賞受賞講演
「海洋政策支援情報ツール（海洋台帳）の構築」
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 吉川 貴子
- (3) 14:40~14:55 「JODCの取り組み」
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 長尾 道広
- (4) 14:55~15:10 「CeisNet の進化」
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 中村 公哉
- (5) 15:10~15:30 「JAMSTEC における海洋調査データの管理・公開について」
海洋研究開発機構 地球情報研究センター 君野 麻衣子
- (6) 15:30~15:45 「海底地形の名称に関する国内外の動向」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課 海洋研究室 小原 泰彦
- (7) 15:45~16:00 「大陸棚調査から判明した日本南方海域の地殻構造の多様性」
海上保安庁海洋情報部 海洋情報課 金田 謙太郎
- (8) 16:00~16:15 「沿岸域の詳細地形調査から判明した海底地形図の活用事例」
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 森 弘和

————— 16:15~16:30 (休憩およびポスター発表コアタイム) —————

セッション2: 水路新技術

- (9) 16:30~17:00 「海洋情報業務をめぐる新技術の動向」
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課長 仙石 新
- (10) 17:00~17:15 水路技術奨励賞受賞講演
「津波細密評価に関する研究」
伊藤忠テクノソリューションズ 株式会社 藤原 了
- (11) 17:15~17:30 水路技術奨励賞受賞講演
「油膜自身の特性による油拡散を考慮した流出油の移流・拡散に関する数値計算法の開発」
独立行政法人 港湾空港技術研究所 栗山 善昭・松崎 義孝

閉会挨拶

17:30~ 海上保安庁海洋情報部 海洋情報課長 岩渕 洋

————— 17:45 閉 会 —————

ポスター展示【13:00~17:45】

- P01 津波防災情報図～現状と課題～
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課航法測地室 三枝 隼
- P02 相模トラフから房総三重会合点の 3D 地形図
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課 泉 紀明
- P03 奄美大島西方の地質構造
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課大陸棚調査室 堀内 大嗣
- P04 北部南西諸島海域における地殻構造調査
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課大陸棚調査室 及川 光弘
- P05 地殻厚さとブーゲー重力異常との関連性の考察
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課大陸棚調査室 藤岡 ゆかり
- P06 新潟地震震源域の海底地形（活断層調査）
海上保安庁海洋情報部 火山調査官 伊藤 弘志
- P07 西ノ島火山
海上保安庁海洋情報部 火山調査官 伊藤 弘志
- P08 2011 年東北地方太平洋沖地震後の海底地殻変動
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課海洋研究室 佐藤 まりこ
- P09 南海トラフにおける海底地殻変動観測
海上保安庁海洋情報部 海洋調査課航法測地室 氏原 直人
- P10 来島海峡の潮流観測
海上保安庁海洋情報部 技術・国際課海洋研究室 熊谷 武
- P11 漂流ブイを用いた相模湾海洋短波レーダーのデータ検証
海上保安庁海洋情報部 環境調査課 西村 一星
- P12 東京湾の連続観測装置による近年の観測成果
海上保安庁海洋情報部 環境調査課 森岡 裕詞
- P13 日本周辺海域の放射能調査
海上保安庁海洋情報部 環境調査課海洋汚染調査室 小嶋 哲哉